

藤富 美恵子 議員

リサイクル施設の建設について

藤富 リサイクル施設整備費1億5千万円についてお尋ねする。

事業主体名は御所市・五條市になっているが、御所市と五條市で建設するというものでよいのか。

産業環境部長 御所市と共同で、

「やまと広域環境衛生事務組合」において処理するものとしていたが、その後、御所市は「今までの中間処理業者に委託する」という処理方法を選択し、本市との共同処理施設建設から辞退するとの回答を得たところである。今後は、本市単独で検討することとなる。

藤富 それでは、五條市はリサイクル施設の建設はどうするのか。選択肢はいろいろあると思うが。

産業環境部長 ①単独でも、当初の計画どおり「やまと広域環境衛生事務組合」の施設内に設置する。②地元の方々の御理解を得て、現「みどり園」のリサイクルプラザの活用を行う。③中間処理業者への委託等、これらの選択肢の中から、その方針を決定しなければならぬと考えている。

藤富 御所市・田原本町のように

細分別すれば、リサイクル施設を建設する必要はないということか。

産業環境部長 御所市が今現在、分別を行っている状態であれば、ストックヤードの場所さえ設ければリサイクルの分別をする必要がないと聞いているので、今言っておられたとおりだと考えている。

藤富 五條市も、市民の皆さんの理解を得て細分別することができれば、御所市に土地を借りて1億5千万円もかけてリサイクル施設を建設する必要はないということが分かった。まず、市民の皆さんにリサイクル施設が必要かどうかを聴き、建設するかどうかを決めなければならぬ。市長、どのような方法で市民の皆さんに聴かれるのか。その順番もお尋ねする。

市長 まず、こちらで検討して、地域、住民の皆さんに理解の得られるような形の中でしていきたい。

まずは市民の代表である議会の皆さんに了解を得て、そこから進めていきたい。それが順序である。

藤富 「リサイクル施設」に関しては、「ごみ処理施設」と同様、市民の生活に一番密着してくるので、議員は市民の代表であるが、まずは、市民の皆様に広く意見を聴いて決めていただきたい。

福塚 実 議員

五條市の少子化対策と若者の定住促進について

福塚 結婚相談所の設置や子育て支援、企業誘致における雇用の促進や定住促進などの様々な問題についてどのように理解して考えているのか伺いたい。

市長公室長 五條市基本施策検討委員会を9月に設置し、子育て支援や定住促進について協議を重ねているところで、若者世代の専門部会を立ち上げたり、市民アンケートを実施している。今後、意見をまとめて定住促進につながる事業の検討をしてまいりたい。

市長 全体の部署からなる検討委員会では、いろんな議論が出るが財源も必要であり、総合的に判断しながら定住促進につなげてまいりたい。

五條市の防災対策について 吉野川の堆石土砂について

福塚 堆石土砂の撤去が近隣住民の安心安全な生活に急務であるが、どのような対策を考えているのか。

都市整備部長 国土交通省に対し、要望等を行ったが、引き続きパトロールや河川環境の把握、維持管

理の実施に努めてまいりたい。

五條市のトンネルの安全性について

福塚 五條市にも住民生活に密着したトンネルがたくさんあるが、その安全性についてどのように認識しているか。

都市整備部長 つり天井板構造と同種構造のトンネルは市内にはないが、特に、国道168号では土木事務所のパトロールにより漏水やひび割れなどの改修工事を毎年実施している。まず目視という形でを行い、ひび割れがあれば具体的な検査になる。

市内で開催のイベントの対応について

福塚 同じ日に開催されるイベントにおいては、事故を未然に防ぐためにも駐車場や送迎バス、案内板等の連携を考えて対応するのがよいと考えるが。

産業環境部長 同日開催のイベントでは、関係部署間で問題点を整理しながら連携を図り、相乗効果が期待できるように努めてまいりたい。

